

生体腎移植

生体腎移植は、ご両親・祖父母などのご親族から腎臓を 1 個提供いただいて行う方法です。

提供いただける方（ドナー）の条件としては

20 歳以上

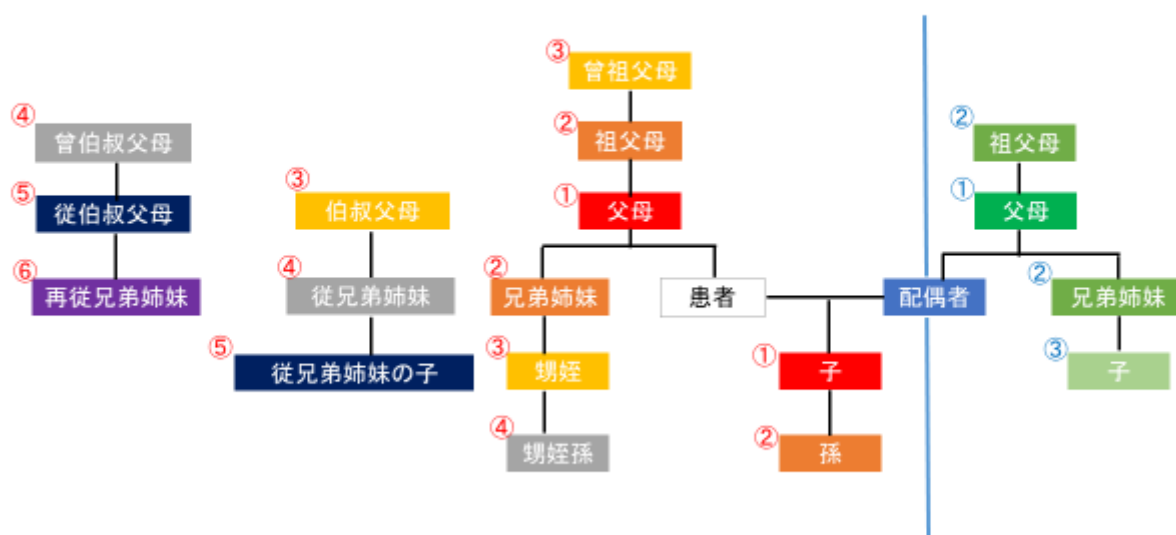
ご本人の意思で腎臓の提供を希望されている

心身ともに健康

である必要があります。

親族 6 親等以内、姻族（配偶者の親族）3 親等以内の方がドナーになることができます。

生体ドナーとして日本移植学会で認められている範囲



腎臓移植を受ける患者さん（レシピエント）が小児の場合には、大人のドナーから腎臓をいただくため、ある程度体が大きくないと生体腎移植手術を受けることができません。

【我が国の小児生体腎移植の成績】2002 年から 2014 年に行われた移植での成績

	生着率 (移植した腎臓が機能している割合)	生存率 (レシピエントが生存している割合)
5 年後	96.4%	98.9%
10 年後	92.3%	98.1%

服部元史ほか、日本臨床腎移植学会雑誌 4:301-312、2016

【生体腎移植を受けるためには】

おかかりの施設の主治医にご相談いただき、移植を行う施設を決めます。

小児の腎移植術は特殊な手術ですので、行うことができる施設が限られています。



移植施設の受診予約を行い、移植施設で説明を受けます。



移植手術は、手術を受けるレシピエントもドナーも大きな負担がかかります。

移植手術を安全に行うために、レシピエント・ドナーともに念入りに検査をして移植が可能かどうか判断します。

検査の結果問題が見つかった場合には、問題を解消してから移植手術を行います。

血液型が異なっても移植は可能ですが、移植の前に別の治療が必要になります。

生体腎移植の利点としては、移植の日程をあらかじめ決めることができます。

また、レシピエントとドナーの健康状態を十分把握できるので、最適な状態で腎移植を行うことができます。

【移植後の注意点】

腎移植 の項目をご参照ください。